

企業ニュース UTグループ

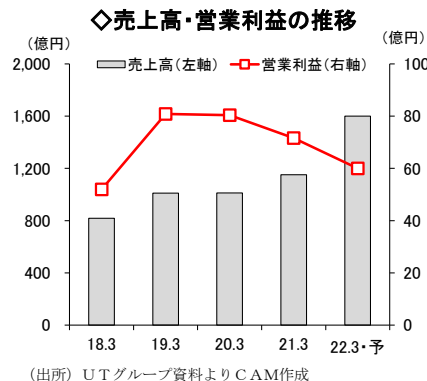
(東証1部：2146) <https://www.ut-g.co.jp>

作成者：村上大志

製造派遣分野のリーディングカンパニー

1995年設立。創業時より、製造派遣業界では異例だった無期雇用による人材派遣事業を展開し、工程全体を一括受託する「工程一括請負」というビジネスモデルを確立した。2000年代には、高度な専門性を要する半導体製造の請負で国内トップとなった。現在では半導体分野に加え、自動車関連、建材、住設分野などものづくりに係る幅広い分野で人材派遣及び業務請負サービスなどを提供している。第4次中期経営計画では、25.3期の売上高2,000億円、EBITDA*200~300億円を目指す。21.3期のセグメント別売上高構成比はマニファクチャリング60%、ソリューション26%、エンジニアリング14%。

*EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額



自動車関連向けを中心に需要は旺盛

22.3期・第2四半期累計(4-9月)の連結業績は売上高が726億円、前年同期比37%増、営業利益は23億円、同35%減。自動車や半導体・電子部品向けの人材需要が好調で上期の売上高としては過去最高を更新したが、採用関連費の増加などで減益となった。採用活動の強化とM&A効果により、技術職社員数は同37%増の28,720名と大幅に増加した。新型コロナウイルスの影響で縮小した派遣市場の回復が続く中、受注残は過去最高水準にまで積み上がっている。

22.3期の会社計画は売上高が1,600億円、前期比39%増、営業利益が60億円、同16%減。自動車メーカーを中心に人材への需要は強い状況が続いており、旺盛な需要に対応するため今期末の技術職社員数目標を32,000名から34,000名に引き上げた。また、通期計画の売上高を100億円上方修正した一方で、採用強化に伴う経費の増加により営業利益を20億円下方修正した。10月に富士通グループや銀行、官公庁などにICT関連のエンジニア人材を派遣している富士通エフサス・クリエを子会社化した。富士通グループとの連携強化により、人材流動化をはじめとする構造改革支援を手掛けるソリューションの業績拡大が期待される。

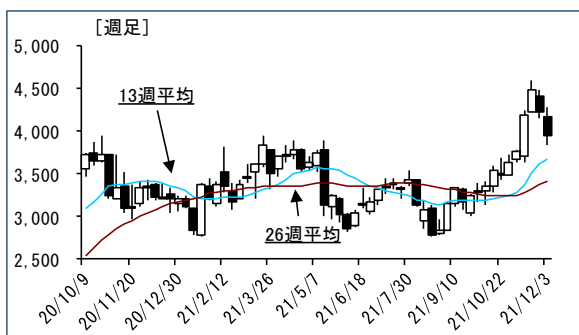
[株価動向・投資判断]

製造業の人材需給がひっ迫する中、当社への需要は拡大している。人員の積極的な採用により先行投資が続くが、今後のシェア拡大が期待される。

<2146 UT 業績:日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
20.3	101,191 (0)	8,040 (▲ 1)	8,113 (▲ 1)	4,509 (▲ 9)	111.7	0.00
21.3	115,131 (14)	7,163 (▲ 11)	7,191 (▲ 11)	4,299 (▲ 5)	106.5	66.00
22.3 予	160,000 (39)	6,000 (▲ 16)	6,000 (▲ 17)	3,400 (▲ 21)	84.2	未定



株価 (2021/12/3)	3,950 円
年初来高値 (高値日)	4,600 円 (21/11/19)
同 安値 (安値日)	2,762 円 (21/8/20)
予想 P E R (22.3 予)	46.9 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	427.0 円
P B R	9.25 倍
予想配当利回り	— %
(1株当たり配当金 未定)	
R O E (21.3)	25.3 %
発行済み株式数	4,036 万株